

お知らせ

8月14日(月)～8月16日(水)は、夏期休暇のため、組合事務所を閉鎖させていただきますのでご了承下さい。

8月1日現在組合員数…2,039名



発行所 東京土建一般労働組合 南部ブロック会議 品川区戸越5-18-2 (3783)0471 代表者 井澤典一 定価 1部 50円 (購読料は組合費に含まれています)

戦後78年

戦争体験者が少なくなる中、我々が『語り部』に

平和共同取材『東京大空襲・戦災資料センター』



東京大空襲を体験した西尾静子さんより話を聞く

教育宣伝部長 富彌 良則 教育宣伝部では、7月2日に教宣部員7名・組合員2名・書記1名の計10名で猛暑の中、昨年に引き続き、案内役に川口重雄さんを迎え、東京大空襲・戦災資料センター等を巡り、『平和共同取材』を行ないました。



富彌さん(豊)

富彌 良則

7月2日(日)に教宣部員ほか10名で、昨年同様猛暑の中、川口重雄氏の案内で東京大空襲資料センター(江東区北砂1丁目)に行きました。 もう少し集まるかと思いましたが残念です。 大井町駅で集合して、秋葉原から錦糸町駅で地下鉄半蔵門線に乗り住吉駅到着。駅構内の付近地

も勝手に納得する。 東京大空襲体験者の西尾静子氏の少女時代の話は、『けんせつ』の記事を読んで知っていたが、6歳の少女のところが何度か壊れた話も「戦争はダメ!」の思いを強くした。80歳を過ぎても豊饒(かくしゃく)として立って話していたが、やはり語り部としての想いなのか拍手を送りたい。 2階へ上って油脂焼夷弾の開発実験映像を見ながら、衣服に付くとほたいても取れないと西尾氏は繰り返して話していた。衣服に燃え移って多くの人が焼け死に、また火から逃げようと冷たい川に飛び込んで死んだかと思うと...

多くの犠牲者を出した大空襲は、真夜中に空襲されており寝ている時間帯でもあるが、昭和13年に公布・施行された『国家総動員法』で逃げることを許されなかったことも要因に上げられる。 資料センターを後に、戦災殉職者供養碑のある妙久寺に向かい、暑い中を歩きと大通りの角を曲ると『東京土建造業力レジ』が目の前に。皆で歓声をあげてしまった。日曜だからシャッターは下りていたが、作品が胸

わずか数時間で10万人を超える死傷者を出した焼夷弾(模型)と実物

五反田分会 岩崎 一字美 太平洋戦争当時、父親は三回も徴兵された近衛兵でした。伯父は職業軍人として、陸軍中佐を拝命し、金沢・愛知で連隊長をされた軍人一家です。 父母の兄弟の内、三人が戦病死をしています。私は終戦時二歳弱で多摩の羽村市の縁戚の家で疎開をしていました。空襲の話は父

後地分会 野村和好 70歳を過ぎた頃から、現場で私共の若いスタッフや他の職種の方々から、危険な場所や根を詰める仕事は「私達がやりますよ」と声を掛けられます。 ◆本場にありがたい事ですが、いざ組合活動になりますと、私事で大変申し訳ありませんが、10年間執行委員長を務め、その後1年経って13年振りに3度目の分会長に就きました ◆現場とは違い「年青衆は、もう引っ込んでいれくれ」との一言がありません ◆先の春の拡大運動の際も高齢の方が、さすがに途中運動からリタイアしました ◆これは『明日は我が身』との警鐘です ◆先の現場の話は利害関係で動いているので、ありがたない声をかけてもええ、短いスパンで次の仕事でも同じ事が起こるのですが、『建物完成まで』という一つの目標が幸いしているかと ◆組合活動は、のべつ幕無し運動で、毎年同じ時期に決まった事を行い、拡大運動でも目標達成しても、次回はそれにも増しての目標を掲げてのスタートであります ◆8月から全分会で組合費等の引き落としが実施されますが、17日の群会議の参加が心配です ◆この心配を、役員以外の組合員に委ねる必要があります ◆

砂町銀座商店街で昼食 飲み物の烏龍茶の最初の一口が旨かった。 自分は品川・荏原区が爆撃された5月24日の城南大空襲に興味がありいろいろ聞き知っているが、戦争体験者が少なくなる中で、われわれが語り部とならなければいけないと思っている。 政府は戦争を無かった事にしようとしているがそれは絶対に許さない!

を張っていた。建築カレッジは遠い存在だったが身近に感じられた。川口氏の粋な計らいだ。 砂町銀座商店街で昼食 飲み物の烏龍茶の最初の一口が旨かった。 自分は品川・荏原区が爆撃された5月24日の城南大空襲に興味がありいろいろ聞き知っているが、戦争体験者が少なくなる中で、われわれが語り部とならなければいけないと思っている。 政府は戦争を無かった事にしようとしているがそれは絶対に許さない!

我が国の行く末を懸念 母、伯父叔母などから、親戚同士で集まりがあった席などで聞くことがありました。 特に1945年5月24日の城南大空襲に叔父達は熱弁を振りました。 持ち家とアパートなどが灰燼になったので思い入れがあるようです。 このたび平和取材として、もつとも大規模な被害を受けた、東京大空襲の戦災資料館を拝観する機会を頂きました。 江戸東京博物館クラス規模を想像していましたが、江東区の住吉の町並みの一角に静かに佇む民間・民営の三階建ての建物でした。

徹頭徹尾、戦争犯罪人を追求するドイツと違い、我が国の責任体制のうやむやを国是とする象徴的な施設を体感しました。 広島・長崎と原爆の悲惨さは広く知れ渡るところですが、焼夷弾の威力のちの朝鮮戦争・ベトナム戦争で使われたナパーム弾として、非戦闘員の大量の被災者を生み出した市井の方々から提供されたセンターの展示品が物語る、銃後(※銃後:戦線の後方を転じて、直接は戦争に参加していない一般国民)の悲惨な生活を想像すらもせず、靖国の虚偽の英霊を崇める、戦後生まれの政治家が、平和憲法の壊憲を囁く現状に我が国の行く末を懸念する取材でした。

も勝手に納得する。 東京大空襲体験者の西尾静子氏の少女時代の話は、『けんせつ』の記事を読んで知っていたが、6歳の少女のところが何度か壊れた話も「戦争はダメ!」の思いを強くした。80歳を過ぎても豊饒(かくしゃく)として立って話していたが、やはり語り部としての想いなのか拍手を送りたい。 2階へ上って油脂焼夷弾の開発実験映像を見ながら、衣服に付くとほたいても取れないと西尾氏は繰り返して話していた。衣服に燃え移って多くの人が焼け死に、また火から逃げようと冷たい川に飛び込んで死んだかと思うと...



全て民間からの寄付で運営されている東京大空襲戦災資料センター

平和への願いの館とついで 南品川分会 櫻井 守 7月2日教宣部員・一般参加総勢10名で、江東区にある「東京大空襲・戦災資料センター」に行き、昭和20年3月10日の江東地域における東京大空襲について、学習してきました。 アメリカ軍により、たった2時間半で、一般国民の10万人余の尊い命が奪われた資料の展示物を見学し、戦争の悲惨さ、怖さなど、改めて二度と戦争は起こしてはいけな

いと、強く心に刻んで来ました。 展示されている写真には、道路や川などに亡くなった人々が折り重なっているところや、親子と思われる黒焦げの写真などを見ることができ、真などを見るに堪えない物が数多くあり、込み上げて来るものがありました。 この資料館は国や都

にとつて都合が悪いのか、土地の提供や寄付により民間が運営していると聞き、大変憤慨しています。 こういう施設こそ、国が運営し、二度と戦争を起ささない、平和への願いの館としてもらいたい。 ◆本場にありがたい事ですが、いざ組合活動になりますと、私事で大変申し訳ありませんが、10年間執行委員長を務め、その後1年経って13年振りに3度目の分会長に就きました ◆現場とは違い「年青衆は、もう引っ込んでいれくれ」との一言がありません ◆先の春の拡大運動の際も高齢の方が、さすがに途中運動からリタイアしました ◆これは『明日は我が身』との警鐘です ◆先の現場の話は利害関係で動いているので、ありがたない声をかけてもええ、短いスパンで次の仕事でも同じ事が起こるのですが、『建物完成まで』という一つの目標が幸いしているかと ◆組合活動は、のべつ幕無し運動で、毎年同じ時期に決まった事を行い、拡大運動でも目標達成しても、次回はそれにも増しての目標を掲げてのスタートであります ◆8月から全分会で組合費等の引き落としが実施されますが、17日の群会議の参加が心配です ◆この心配を、役員以外の組合員に委ねる必要があります ◆



戦争当時の展示物を見る参加者達

待ってました! 開始早々から、大賑わい!

4年ぶりに開催!

第51回『八丈島夏祭り』

「八丈島分会発」

に開催されました。

7月22日(土)〜23日 八丈島分会もコロナ禍(目)にかけて、第51回前のように、子ども向け八丈島夏祭りが4年振りに『おもちゃ』の屋台を



4年ぶりの開催に向け準備万端

出店しました。

これまでよりも規模を縮小し、八丈町役場の敷地内での実施となりましたが、久しぶりの『夏祭り』ということもあって親子連れを中心に、大いに賑わいました。

我が八丈島分会の屋台も、開始と同時に子ども達が列を作り、大盛況!会場に訪れた親御さんからは「土建さんは、い



開始と同時に子ども達が列を作る

つも値段が安くて、ありがたい」「子ども達のお

小遣いの範囲で買えるので助かります」等の声が聞かれました。



奥山常任・秋田分会長も大忙し

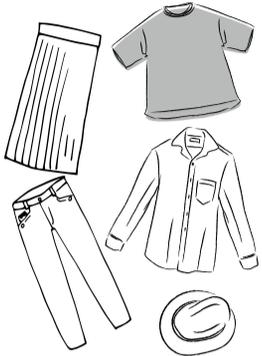
いっぴく

「平和」という素敵な流行を

小山分会

佐藤 健

「服飾」の業界では、何十年かおきに「流行」が繰り返されるらしいです。親の代に流行った服は今やダサイけど、おばあちゃんに着ていたのは一周回ってイケてるって感じ



「音楽」や「写真」も文化ですから「流行」があで、人間は「便利」に服従するものだと

私、CDが主流になり、一度レコードプレイヤーを手放してしまいました

でしようか。

技術の進歩の前では、個人のノスタルジーは弱小

り込んだフィルムカメラも全てデジタルカメラに替えて



ところどころがここ数年、若者の間で「レコード」や「フィルムカメラ」が再

流行とのことです。中古のそれらを販売する店舗も流行っているそうです。

それは私にも経験済みでよく分かるのですが、プリントしたその写真を

上げて楽しむという、命には理解しづらい行程も流行っているそうです。

も増え、中々盛況らしいです。

「カメラ女子」なる言葉も生ま

れ「どんな風に撮れているか

のドキドキが楽しいらしいです。

個人的には、デジタルに移行の為に、当時二束

三文で下取りに出したカメラ達が、現在けっこうな値段で取引されています。SDなんちゃらだし、皆さん楽しんでるのを見て、私も少し面白くありませんが、まあ経済も廻るし、SDなんちゃらだし、皆さん楽しんでるのを見て、私も少し面白くないです。

品川の公園 荏原中央公園

中延分会

村山 浩幸

彩な遊具が設置されています。

公園内には、消防団の小屋もあり、地域の人は馴染みの深い公園です。5丁目にある『荏原中央公園(荏原5-1-2)』を紹介いたします。

大きな公園ではありませんが、小さな子から高学年の子まで遊べる多



ケヤキの大き目印の荏原中央公園

ふらり品川

その⑨⑨

暑い日が続いているので、少し人が少ない様な

気がしますが、車のドライパーとか、営業の会社員の人達が、トイレを利用する姿も見かけます。

外で働く人達にとっては、トイレがある公園は助かると思います。

涼しくなったら、色々な『公園めぐり』みたいな事をするのも楽しみかと思っております。

荏原中央公園は、大通りに面していない公園です。静かで良い公園



多彩な遊具が設置されています

